



2011年3月14日

各位

会社名 旭硝子株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 石村和彦  
(コード番号 5201 東証第1部)  
問合せ先 広報・IR室長 上田敏裕  
(TEL. 03-3218-5509)

## 東北地方太平洋沖地震による被害について

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による当社グループの被害状況について、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 従業員の状況について

当社グループ社員の安否を現在確認中です。当社が確認できている情報からは、数名が軽傷を負ったことが判明しています。

### 2. 事業所の状況について

今回の地震により大きな影響が出た事業所は以下の通りです。但し、東北地方の被害は深刻で、電力などライフラインの状況によっては下記以外の影響が出る可能性があります。

#### (1) AGC 旭硝子(株) 鹿島工場 (茨城県神栖市)

建築用フロート板ガラス生産設備の一部が損傷し、現在生産を停止しており、再開まで約1か月を要する見込みです。

建築用フロート板ガラスや化学品製品の出荷及び原料受け入れに使用する船積パースが損傷し、使用できない状況となっています。復旧には、かなりの期間がかかると見込まれます。

#### (2) AGC 旭硝子(株) 千葉工場 (千葉縣市原市)

近隣のコスモ石油(株)殿の工場で火災が続いていることから、工場への立ち入りが制限されていますが、設備の確認を進めています。

#### (3) AGCディスプレイガラス米沢(株) (山形県米沢市)

同社は中小型液晶用ガラス基板の加工を行っていますが、建物設備には決定的な被害はなく順次生産を再開しています。また、同社が製品の加工作業を委託している一部の協力会社の中に、建物設備が大きく損傷した所があり、現在、復旧に向けて鋭意準備中です。

#### (4) AGCエレクトロニクス(株)郡山工場 (福島県郡山市)

生産設備の一部が損傷し、復旧に向けて作業を行っています。

なお、前記のほか、建築用加工ガラスを生産する東北・北関東の一部拠点において、従業員が出社不可能である、設備が損傷している、原材料である板ガラスが破損したなどの理由から、現在生産を停止しています。現時点で生産再開の見通しは立っていません。

### **3. 事業別の出荷見通し等について**

#### **(1) ガラス**

建築用ガラスについて、鹿島工場の生産再開までの期間は供給に支障をきたすことのないよう、在庫及び海外を含めたグループ内の他拠点からの出荷による対応に努めます。

#### **(2) 電子**

今回の震災の影響は中小型液晶用ガラス基板用に限定されるため、フラットパネルディスプレイの事業全体に与える影響は限定的と考えています。

#### **(3) 化学品**

船積バースの損傷により鹿島工場での生産再開の見通しが立っていないことに加え、千葉工場も設備の確認を進めていますが、定期修繕からの立ち上げが遅れる見通しです。

### **4. 業績への影響について**

当該地震による損害の見込み額は、現時点で不明です。

### **5. 電力使用抑制について**

国内の電力不足が深刻な状況に鑑み、当社グループも工場の稼働調整など電力の削減、使用抑制に協力していきます。

以 上